

平成 2 2 年度事業報告書

事業の概要

1 平成 2 2 年度の主な事業の概要

平成 2 2 年度は、「東京都市大学グループ」が、「東京都市大学グループ 理念と目標」のもと、グループ各学校がそれぞれ特色ある施策を展開すると同時に、学校群全体のスケールメリットを活かしながら、「都市大ブランド」を確立し厳しい学校間競争を勝ち抜くための重要な年度とした。

学校間連携の強化は、その最も重要な取組みのひとつである。なかでも、大学と付属 3 高校間の「高大連携」では、平成 2 2 年度から常設とした「高大連携委員会」を設置し、積極的な活動を行った。具体的には、付属の 3 高等学校の「付属進学制度」及び「単位認定制度」の導入を決定し、いずれも平成 2 3 年度から実施することとなった。その他、教職員の交流と研修、生徒間交流(クラブ活動)等、幼稚園から大学まで多岐に亘る学校間連携事業を実現した。又、グループ各学校の連携強化、充実した教育と研究活動の展開に資するため、グループ各学校の教学に関する事項を統督する総長に、東京都市大学中村英夫学長が就任した。なお、東京都市大学グループ学生・生徒等の学校生活の充実、運動施設の拡充を図るため、利便性の高い、グループ全体で共有する総合運動施設として、東京都市大学総合グラウンドを開設した。

東京都市大学では、早稲田大学との原子力分野の共同大学院を設立し、渋谷区にサテライト教室を開設した。又将来構想検討委員会において具体的な改革案を策定し、平成 2 5 年度学部学科改組の実施に向けて更なる検討を行っている。なお、競争的研究資金及び外部資金の積極的獲得につとめ、科学研究費補助金申請においては、応募、交付件数及び採択率において前年を上回る結果となった。

なお、専門性の高いキャリア形成教育の実践を行うため、東急グループを含む企業の協力を得て、インターンシップの拡充等就業力を培い、学生自身の適性に応じた職業選択を可能とするよう全学的に取り組んだ。

初等中等教育学校では、東京都市大学塩尻高等学校において工業科を再編し、総合工学科に自動車科を統合することを決定した。

なお、平成 2 3 年 3 月 1 1 日に発生した東日本大震災により被災した在学生及び入学予定者については、入学金、学費などの減免措置により支援を行っている。

2 広報

「都市大グループ」誕生より 2 年目となる平成 22 年度は、グループ全体の認知向上に継続して取り組むとともに、さらに理解促進させるための広報活動の充実・積極的展開に取り組んだ。

募集広報

各学校の募集広報等を円滑かつ効果的に展開することを目的として、各種媒体を積極的に活用し、グループ全体のスケールメリットを活かし、安心感と信頼感の訴求などの相乗効果を意識した広報活動を行った。

一般広報

「都市大グループ」の更なる認知度向上及び理解促進を目的として、各種媒体を利用した広告宣伝を継続的に行った。

「都市大ブランド」形成の中核となる教育研究や産学連携等の成果を広く世の中に伝え、共感してもらうために、マスコミに向けたプレスリリースの積極的な配信や直接的な説明活動などパブリシティ活動を積極的に行い、情報発信を強力に推進した。

総合グラウンドの取得、各学校間をつなぐシャトルバスの導入等をグループ全体の学校間連携を象徴する取組として位置付け、広報・広告した。

グループ全体の教育理念や目標、ブランドビジョンを継続して発信した。

シンボルマーク及びロゴタイプを含む V I (ビジュアルアイデンティティ) のガイドラインを効果的に活用し、グループ全体の統一感あるイメージをもった広報活動を行った。

社会動向や各学校の評価を収集・分析のため、定常的な情報収集を行った。

アニュアルレポート(年次事業報告書)を作成し、ステークホルダーへグループ全体の年間の取り組みを報告した。

私学経営研究会主催による「東京都市大学グループ」見学会開催をはじめとし、各種セミナー等での理事等の講師派遣など、改革の実績公開等を積極的に行った。

東日本大震災の発生に関連し、都市大グループとしての対応(経済支援等)について、パブリシティ活動等を行うとともに、グループ全体のリスク管理の観点から、周辺情報の収集・整理に努めた。

(3) 内部広報

法人内広報誌などに、グループ全体の広報活動や各学校の活動情報などを相互に情報共有できるよう、共通ツールの作成に努めた。

東日本大震災の発生に関連し、各学校へ向けての情報発信・収集等を行った。

3 人事

[職員配置]

東京都市大学では、男女共同参画プロジェクトの一環として女性研究者支援室を設置し、3名の女性研究者の配置を行うなど、女性研究者の採用活動を積極的に行った。又大学間連携による若手教員の相互交流・教育活動の相互協力を積極的に行い、研究及び人材育成のより一層の充実を図ることにも取り組んだ。

なお、文部科学省の「大学生の就業力育成支援事業」に、「専門性の高いキャリア形成教育の実践」が採択され、全学的なキャリア形成教育の推進、学部学科の横断的な連携強化を行うため、「キャリア支援センター」に人員を増強した。

東京都市大学等々力中学校・高等学校では、共学部を設置し、確かな学習支援プログラムを掲げた教育改革を推進するため、新たに9名の職員を配置し、教員体制の整備充実を図った。

[事務組織の再編成]

東京都市大学においては、学生サービスの一層の向上に資するため、平成22年9月に事務組織を改編し、三キャンパスの連携強化、職員の機動的・効果的配置を行った。

今後は、更に質の高い学生サービスの確立を目指すとともに、事務の簡素化、合理化に向けた取り組みを行い、働きやすい環境整備の実現、職員の健康と安全を保つためのワーク・ライフ・バランスの促進を目指すこととした。

[新人事制度の実施]

平成22年度より初等中等教育学校の教育職員に対し、新人事制度を導入し、教員の能力及び資質向上を図り、人材の育成と活用、学校組織の活性化に取り組んだ。

又、事務職員においては、都市大グループ全体の取り組みとして、「職員力」の向上、CS活動等研修活動の強化を行っており、新人事制度(目標管理制度)を通して、個々の職員の資質向上・能力開発を行うことを目的とした体系的な研修を実践した。

4 財務

財務活動において学校法人会計基準に加えキャッシュフロー計算書、損益計算書を作成し、業績評価、投資評価に活用し、財務の安全性と事業運営の健全性を向上させるべく取り組んでいる。キャッシュフロー計算書における教育研究活動による収入は、各学校で学生生徒数が充足したことにより対予算 280,000 千円増となった。一方支出は管理経費を中心に見直しを徹底したことにより 3,557,000 千円の収入超過となった。

施設等整備は、東京都世田谷区鎌田に都市大学総合グラウンドの取得、都市大学世田谷キャンパス1号館建設着工、等々力中高新校舎及び新グラウンド完成など施設設備関係支出 5,450,000 千円

を投資したが、不動産等売却等収入により、事業活動によるキャッシュフローは 355,000 千円の収入超過となった。

損益計算書において、経常収支差額は、825,000 千円となり、土地売却等収入による特別収支差額を加えた帰属収支差額では 2,763,000 千円の収入超過となったが、基本金組入れにより、消費収支差額は、2,105,000 千円の支出超過となった。

5 施設設備計画の実施状況

平成 22 年度に決定された事業計画の実施状況は、次のとおりである。

(1) 平成 21 年度からの継続事業

東京都市大学等々力中学校・高等学校施設設備整備

平成 22 年度に完了した主要な工事等は下記のとおりである。

ア 新校舎新築工事

平成 21 年 10 月に着工した新校舎新築工事は平成 23 年 2 月 28 日に竣工した。

(計 1,443,750 千円)

(建物の概要)

・新校舎 鉄筋コンクリート造地上 4 階建 延床面積 5,968.98 m²

階	面積	主要用途
1F	1222.35 m ²	特別教室、保健室他
2F	1267.61 m ²	教室他
3F	1241.29 m ²	教室、オープンスペース他
4F	1241.29 m ²	教室、オープンスペース他
5F	996.44 m ²	ラウンジ、多目的ホール、厨房他

・弓道場 鉄筋コンクリート造平家建 延床面積 292.5 m²

階	面積	主要用途
1F	292.5 m ²	弓道場・部室

(備考)

弓道場については、国より補助金の交付を受けた。

(国庫補助) 私立学校施設整備費補助金 (学校体育諸施設補助)

8,535 千円

イ 第一校舎・体育館改修工事

既存第一校舎・体育館の改修工事を実施した。(計 498,750千円)

ウ 第一校舎管理棟耐震補強工事

第一校舎管理棟部分について、耐震補強工事を実施した。(計 68,250千円)

(備考)

本件工事は、国及び東京都から補助金の交付を受けた。

(国庫補助) 私立高等学校等施設高機能化整備費 26,555千円

(東京都補助) 私立学校安全対策促進事業費補助 28,045千円

エ 第一校舎空調設備更新工事

改修工事に併せ、第一校舎空調設備の更新工事を実施した。(計 35,000千円)

オ 機器・備品購入

新校舎及び第一校舎の LAN 設備等機器・什器を更新した(総額 296,364千円)

東急自動車整備専門学校・東急自動車学校跡地原状回復工事

平成21年12月に着工した東急自動車整備専門学校・東急自動車学校跡地原状回復工事が平成22年7月20日に完了した。(計 236,250千円)

平成22年度事業

東京都市大学世田谷キャンパス

ア 新1号館新築工事関係

キャンパス整備計画に基づき、平成22年11月16日に新1号館新築工事を着工した。

(総事業経費 5,150,000千円 平成22年度支出 505,706千円)

イ 改修工事等

5号館・10号館・17号館の改修工事を実施した(計159,810千円)

ウ 土地買収

下記借用校地を買収した。

相手方	買収金額	引渡
豊田 三郎	14,024千円	平成23年2月

(土地の概要)

地番	地目	公簿面積
世田谷区玉堤 1-2308	学校用地	214 m ² (64坪)

東京都市大学原子力研究所

ア 内装改修工事 (15,803千円)

イ 廃炉関係

今年度は液体廃棄物廃棄施設の機能停止措置及び解体・撤去計画を専門業者に委託した他、放射線同位元素廃棄物の処理・処分の委託、及び保管施設の設置を行った。

(計 46,646千円)

東京都市大学等々力キャンパス

都市生活学部・人間科学部設置関係

ア 3号館改修工事

都市生活学部の設置計画に基づき、内装改修工事を実施した。

(計 30,345千円)

イ 授業用・実習用機器等の購入

両学部の設置計画に基づき、下記の通り授業・実習用機器等を購入した。

(計 140,057千円)

ウ 図書・学術雑誌の購入

両学部の設置計画に基づき、両学部の図書・学術雑誌・視聴覚資料等を購入した

(計 12,103千円)

東京都市大学総合グラウンド

独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構の所有物件「二子玉川園スポーツセンター」を購入し、併せて施設設備の改修工事を実施した。また送迎用車両を購入、運用を開始した。(買収金額 2,000,109千円)

(土地の概要)

地番	地目	公簿面積
世田谷区鎌田一丁目 184 番 7	学校用地	26,901 m ² (8,137 坪)

(建物の概要)

- ・第一クラブハウス 鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積 440.19 m²

階	面積	主要用途
1F	274.95 m ²	ロッカ-室・シャワ-室・管理室
2F	165.24 m ²	ホール

- ・第二クラブハウス 鉄筋コンクリート造平家建 延床面積 510.68 m²

階	面積	主要用途
1F	510.68 m ²	事務室・ロッカ-室・ホール

(主な施設設備整備内容)

- ・改修工事費用 263,250千円
- ・送迎用車両購入費 15,206千円

その他

世田谷区上野毛土地 賃借権消滅補償契約(第3回)の締結

世田谷区上野毛二丁目所在の土地について、世田谷区より当該土地の賃借権消滅補償を受けた。

相手方	対象土地	補償金額
世田谷区	世田谷区上野毛二丁目1番4	1,998,865千円
世田谷区土地開発公社	世田谷区上野毛二丁目1番5	122,813千円
	世田谷区上野毛二丁目1番6	
	世田谷区上野毛二丁目1番7	
(計)		2,121,678千円

6 学校間連携（高大連携）

高大連携委員会を組織し、東京都市大学と付属3高校の関係強化を図るため、具体的内容について検討・協議を行ない、下記項目について決定した。

付属3高校の東京都市大学付属進学制度

高校での入学前教育の徹底

大学におけるリメディアル教育の充実発展

高校の東京都市大学へ向けた進路指導の充実

平成24年度入試大綱

都市大と都市大付属3高校における単位認定制度

都市大グループ各校の関係強化を図り、グループ力向上を目指して、学校間連携事業を積極的に推進した。

7 収益事業部門

五島育英会ビル

建物管理システムの機能向上を行い、業務の効率化と円滑な運営を図った。又平成23年度より4カ年に亘る改修工事計画を策定した。なお、平成23年度実施の設備改修工事は、国土交通省建築物省エネ改修緊急支援事業の採択を受けた。

東急自動車学校

近隣大学アンケート、1周年キャンペーン等の実施、送迎バスルートの増設など集客のための施策を講じたが、知名度の十分な浸透に至らず、予算を下回った。

CS向上を目的に行った卒業生アンケートでは、顧客満足度95%を獲得した。又、震災対応として被災地区から4名の教習生を受け入れた。

8 教学部門（設置学校の具体的取組み）

東京都市大学

1 学部学科改組の実施準備（全学）

平成25年度の実施を目標に将来構想検討会を開催し、策定した第一次改革案の実施に向けWGにて検討を開始した。

2 競争的研究資金及び外部資金の獲得（全学）

科学研究費補助金の申請を推進し、採択率は平成21年度32.5%から36.1%に上昇した。また、住宅市場整備推進等事業費補助金を獲得した。

3 授業改善活動の推進及び教員業績の評価（工学部）

工学部教務委員会を主体として授業改善アンケートを利用した授業改善システム(P D C A)を運用・実施した。教員業績評価に関しては教員業績登録システムの修正を依頼した。

4 学生満足度の向上と対応(工学部)

学生実態調査アンケート集計結果から抽出した問題点に対し、検討・対応し改善が図られた。

5 キャリア教育の必修化(知識工学部)

2年次にキャリア開発 を必修科目として開講し、キャリアを見据えた勉学・就職活動への動機付けを行った。また、暫定措置として3年次に特別講義(キャリア開発)を開講して就職活動に関する指導を行い、同時に次年度3年次開講のキャリア開発 の必修化へ向けての準備を行った。

6 外部資金等の獲得(知識工学部)

科学研究費申請の推進により、採択件数は平成21年度10件(16,960千円)から15件(27,710千円)に増加した。

7 専門科目における英語力向上の取組(環境情報学部)

学部1・2年生向けの専門科目の約1/4において、専門分野内容の英語による説明、資料の講読、英語による視聴覚資料の視聴などの実施により英語科目以外で英語に親しむ状況作りを実施。

専門科目教員によるオムニバス講義「Academic presentation」を開始

「修士研究英語発表会」の実施(年2回)

8 外部資金等の獲得(環境情報学部)

科学研究費の応募件数は平成21年度25件(内採択14件)から27件(同10件)に増加。受託研究は6件(6,770千円)から9件(29,720千円)に増加。また大型プロジェクト獲得にも注力し、JICAの「草の根技術協力事業」プロジェクト及び日本学術振興会の「最先端・次世代研究開発支援プログラム」(139,100千円)に採択された。

9 実践力のある街づくり専門家の育成への取り組み(都市生活学部)

建築設計、3D-CAD、社会統計、フィールドワーク能力の習得等を行い、実践力を身につけさせた。

10 適切な職業指導(都市生活学部)

専門講師による集合授業と少人数クラス別指導を組み合わせた科目「キャリアデザイン」を前後期7回ずつ実施。加えて不動産、建設、広告業界を対象に職業・業界研究会を合計3回実施し専門分野への職業指導を実施した。

1 1 質の高い保育者養成機関としての取組み（人間科学部）

児童教育・福祉施設、書店等における絵本の読み聞かせや、幼稚園のボランティアなどの現場体験の参加者が各学年 40 名を超えた。また、海外研修は 26 名が参加し、理論と実践の学習又ボランティア活動を行った。

1 2 高い就職率を目指すための支援（人間科学部）

就職及び公務員試験の支援としてキャリアデザイン委員会を結成しその取組みを本格的に始動。又発表会・講演会・ガイダンス・個別相談などで学生及び指導教官の意識向上を図った。

東京都市大学付属中学校・高等学校

1 校内組織における諸活動の活性化

学校経営会議を週 1 回の定例及び臨時で計 40 回程度開催し、重要事項の検討・決定を行い職員連絡会議にて周知を図った。

進路部学習グループを設置し指導法・模試・合宿の検討など学力向上を図った。

学年連絡会議を週 1 回の定例で開催し各学年の状況や課題を共有することにより、学年運営の円滑化を推進した。

2 学校間の連携・交流

昨年同様塩尻高と硬式野球部・バスケット部の合同練習を実施。吹奏楽部は塩尻高の卒業式に参加し、同校吹奏楽部と共演した。

塩尻高へ教員が訪問し会議や情報・意見交換を実施した。等々力中高へ教員が訪問し校舎見学・夜の自習室使用状況を見学した。

付属小と推薦制度の見直しの方向性並びに推薦者について情報交換を行った。

3 定期試験・外部模試等、結果の綿密な検証

定期試験については教科会議で問題・結果分析を行い、実力試験は今後の方向性についても検討し次年度の改定案をまとめた。外部模擬試験は過去問など対策強化を行い前年度の成績を上回る成果を挙げた。

4 習熟度別クラス編成の再構築

関西の中高一貫校の視察を行い、新学習指導要領に対応した新カリキュラムの作成及びコース制・習熟度別クラス編成の検討を行った。中学のカリキュラムは完成、高校の新カリキュラムは現在検討中。

5 英検・漢検の上級取得率の向上

英検は中学 3 年生 2 学期時点で 3 級 94.3%、準 2 級 38.9%を達成した。漢検は高校 1 年生 2 学期時点で準 2 級 49.1%を達成した。

6 中3キャリアスタディの推進と高1中期修了論文の実施

同窓会協力による講演や企業研究を中心とした中3キャリアスタディの実施と次年度改善案提出を行った。高1中期修了論文では原稿作成(夏休み)・グループ別発表と優秀者の選定(2学期)・優秀論文集の作成(3学期)を行った。

7 授業力の向上

授業アンケートの結果を受けて、結果分析会・教科研修並びに公開授業等を実施した。授業アンケートの得点率は中高ともに目標値に達成した。又予備校実施のセミナーや公立高校の公開授業等に参加し、授業力向上を図った。

8 大学進学実績の対前年度比増加

目標達成のための模擬試験の偏差値は、文型科目が大きく上昇した。センター試験得点率は昨年度より上昇し、各科目の平均点もほぼ全国平均を上回った。

9 難関大学現役合格者数増加

目標達成のためのプログラムを実施し、現役合格者は国公立大学・早慶は目標値を概ね達成。また上智大・理科大・MARCHを加えると計183名となり難関大学合格者数は過去最高となった。

10 クラブ活動の更なる活性化

世界大会優勝、全国大会出場等部活動のみならず教科、個人活動での実績も顕著。

11 中学受験者数の維持

昨年度実績1,728名を上回る受験者数1,873名(昨年度比8.4%増)を達成。

12 道徳心・愛校心

週1回の「道徳」の授業で公正心・思いやり・責任感等を養う道徳教育の確立、式典での校歌斉唱等の徹底、学校周辺の清掃ボランティア活動の推進を行った。

13 校務システムの構築と効果的運用

校務システム担当教員と業者の連携が進展した結果、校務システムへの対応が教員間で広く認知され、運用できるレベルに到達したが、担当教員の負担が大きく、組織として今後改善を検討。

14 教員研修制度の積極的運用

長期休暇中の校内研修を実施し学校改革・教科指導・生徒指導についての共通理解、自主研修の参加で教育力・授業力の向上を図った。

東京都市大学等々力中学校・高等学校

1 学校力の向上

総合的授業評価システムを一部修正の上構築。各教科2名ずつ授業DVDを作成、外部

講師を招いて冬季に教科合評研修を実施し授業の質的向上を図った。

校内の能率的機能やIT化の推進を図った。

2 生徒指導力の向上

前年度作成「新生徒指導規程」に基づく生徒指導の徹底を実施し、月間目標設定や男子生徒への指導等に運用した。

カウンセリング室便りを発行した。

3 進学指導力の向上

システム4Aを円滑に実施した。

TQノート・自習室の活用と学習習慣を確立した。

進学指導体制の強化により、四大現役進学率76%、GMARCH以上8名合格で目標を概ね達成した。

4 教務力の向上

「新教務規程」に基づく教務運営を実施した。

共学部シラバスを作成した。

考査後や学期末の補習の運営管理を行った。

教科会が主体となり授業力向上を推進した。

5 生徒募集力の向上

生徒募集情報のデータベース化及び中学説明会の年間計画と各会のテーマ設定により、入学者のレベルアップを実現した。

6 組織力の向上

校務分掌に1人1部制を徹底し、各部の活性化を図った。

人事評価の実施により個人目標と学校目標の整合性を図った。

7 共学部取組の推進

4A・Lip・英語国際・理科の4つの特色においては可能な限りの成果を上げた。

キャリア教育(合宿・田植え・土曜プログラム)実施後の「行事満足度調査」において目標を達成した。

ノブレス・オブリージュを生徒指導の基本原則として浸透させた。

授業DVDの作成など教科指導の意識向上を図った。

東京都市大学塩尻高等学校

1 学科・コースの再編成計画の立案

自動車科を、総合工学科内に自動車コースとして設置、加えて科学技術コース、マルチメディアコースを設置した。この学科再編に伴い新カリキュラムを作成し授業内容の充実を

図った。

2 新デュアルシステムの構築

経済産業省「ものづくり人材育成事業」の対象校となり、外部講師を招いて講座を開講し、効果を上げた。

3 朝のショートHR活用

クラスにより漢字検定や新聞を活用してSHRを実施した。

4 ロングHRの組織的取り組みと道徳教育

行事計画を基に年間計画を作成し実施した。また「学校人権教育連絡協議会」を開催し、生徒の人権尊重の意識付けに役立てた。

5 成績規定の改正

評価方法(5点飛び)を1点飛びでの評価に改善することで学力変化を詳細に把握し、また学期毎に5段階評定で表すことで進路指導に効果を上げた。

6 生徒出欠席管理

クラス毎のデータと学年平均データを比較し公開することで指導の徹底を行った。

7 資格取得目標設定とその実現

総合工学科では、単年度で資格の全体受験と希望受験を複数回実施した結果、複数取得者を多数輩出した。自動車科では整備士資格合格率は約70%となった。2学科の資格取得延べ数も前年度244件から338件(一人当たり1.17件)となり飛躍的に向上した。英検・漢検については全校で例年より上級の合格者が増加した。

8 生徒行事の活性化

年間・月次行事予定に従い例年通りの学校行事を実施し、卒業式については初めて市内のレザンホールにて実施した。

9 連携交流

都市大との連携強化として単位互換制度について、夏期集中講義の利用で取り入れることを検討した。

グループ内での学校間連携強化として、女子理数科教育の推進のため都市大教授による講義の導入、都市大グループの教員の交流研修会の実施、附属中高野球部・バスケット部の合同練習実施、卒業式での附属高吹奏楽部との共演等を実施した。また、都市大教授や学生協力の下、中学生の体験入学会を行い都市大の魅力を伝えた。

公私連携7年目の塩尻志学館高校と相互授業を実施した。

10 授業内容の充実

シラバスの充実により、コンテスト等の受賞や資格取得増加に繋げた。なお、女子生徒の

増加に対応し、調理実習室を設置した。

1 1 進路指導の充実

外部担当者を招いて分析会や講習会を実施することで職員全体の意識と指導力向上を図った。

1 2 進学実績の向上

センター試験、一般入試への対応強化を実施。又都市大生との交流会を実施した。

1 3 就職内定率 100%

就職先拡大の働きかけで新規 10 社を開拓し、目標を達成した。

1 4 教科外活動の活発化と道德心の育成

部活動加入率は 70% になり各大会で空手道、野球、サッカー、女子バレーが県大会 1 位という成績を修めた。また、女子生徒増加に伴い部室を増設した。

定期的な生徒指導により生活態度や学校秩序が向上した。

自閉症を題材にした映画鑑賞や入室指導により道德心の向上を図った。

1 5 職員研修を充実させ、外部内部評価を導入することで学校全体の評価に繋がった。又、危機管理のための指導及び講習の受講を行った。

1 6 入試・生徒募集・情報管理

説明会や体験学習会を開催。参加者数は目標数を達成し過去最高を更新した。また、継続的な教育設計・データ管理のために基盤づくりを行った。様々な募集ツールを通じて積極的に情報を発信し、中学校や塾との連携を強めた結果、募集定員を充足した。

東京都市大学付属小学校

1 自学力育成のための教育カリキュラムの再編により教育効果が上昇した。

2 通知表の改編と校務システムの運用により教員間の情報共有と効率化を図った。

3 教育設備・機器の利用により習熟度向上を図った。

4 学習設計

授業力向上のためのミーティングを実施し、オリジナルテキストの利用などにより学力テストで効果を上げた。

計算力や漢字書き取り大会を実施し、基礎学力の定着と自習力の向上を図った結果、漢検では学校優秀校として表彰された。又、PC 教室や理科学習室等を効果的に利用することで学習力やメディア教育の充実向上を図った。

教員の質向上に向け、新指導要領に係る教科カリキュラムの作成及び所属団体の研修に参加した。

5 生活設計

学校行事や児童会・委員会活動などでは児童の主体性を尊重し、また縦割りでの活動や芸術鑑賞の推奨で生きる力を育めるよう促進した。

年4回の防災訓練、交通安全指導等を通じ安全に対する意識向上を図り、挨拶・マナー・給食指導を通じて規律ある姿勢を培った。

6 入試及び進学

学校説明会667名、応募者334名と前年度を上回った。

模試等の結果において男子・女子とも目標偏差値を達成し、難関中学合格者50%を達成した。

東京都市大学二子幼稚園

- 1 集団生活の経験の積み重ねによる子どもの変化・成長の様子を保護者に伝え、さらに協力を得ることで保護者との連携を充実させた。
- 2 学年で取組んだ保育の課題や援助について点検・共有することで他学年からも協力を得られるように配慮した。
- 3 子どもの1年間での成長を想定した遊びの計画立案をし、成長後の遊びに発展させられるような環境整備、また個別の援助も行った。
- 4 環境に適応した遊び
季節・天候等により遊びのバリエーションを持たせ、またルールの遵守や集団での役割・協力を学ぶことで年齢に適応するよう配慮した。
生活環境や年齢等により差はあるが、子どもは経験や模倣からイメージを膨らませて遊びを行うので、そのアイデアを活かして遊べるよう促した。
集団生活の中で友だちと意思疎通を図れるようにするため、言葉の使い方や意味などを理解し伝えられるよう援助した。また、友だちの関係を広げるため、異年齢との交流を増やすことで広く興味・関心を持つよう援助・環境整備を行った。
- 5 年齢・学期・季節ごとの遊ぶ様子を検証し、教材準備や援助により興味・遊び方・友だち関係の幅を広げることに繋げた。
- 6 様々なことに興味関心を持ち、遊びが偏らないように図鑑や本の設置場所を工夫し、また教師が年齢に適した遊びの情報を共有するなどして保育環境を整えた。

以 上

資 料

1 法人の概要

学校法人五島育英会は、1955（昭和30）年6月、東急グループの創設者である五島慶太を初代理事長として設立した学校法人である。

設立以来、“国際的視野と情報教育を身につけ、健全な精神と豊かな教養を持って国際社会で活躍できる有為な人材を育成し、もって、広く社会に貢献するため、常に魅力ある教育システムを構築する”との目的を掲げてきた。

現在は東京都市大学を頂点とした、高等学校3、中学校2、小学校1、幼稚園1の計8校が東京都市大学の名を冠して“東京都市大学グループ”を形成し、緊密な連携を図るとともに、それぞれの学校がこれまで培ってきた歴史と伝統を活かしながら学園全体の総合力を最大限発揮し、豊かな人間性、国際化社会に適用できる人材の育成を目指している。

東京都市大学グループの教育理念

健全な精神と豊かな教養を培い未来を見つめた人材を育成します

東京都市大学グループの教育目標

国際的な視野と情報活用能力を身につけ健全な精神と豊かな教養を持って、国際社会で活躍する有為な人材を育成します

東京都市大学グループのグループビジョン

都市大グループは、未知の世界を切り開き、未来に向かって挑戦します

2 建学精神

東京都市大学

建学の精神

公正・自由・自治

理念

持続可能な社会発展をもたらすための人材育成と学術研究

スローガン

科学を基盤に持続可能な社会発展をめざす

東京都市大学附属中学校・高等学校

公正・自由・自治

東京都市大学等々力中学校・高等学校

- ・ 健康で生命力の旺盛な身体を作る

- ・ 謙虚で清楚な風格を養う
- ・ 科学的・計数的に物事を判断処理できる能力を培う
- ・ 知識技能を磨き、生活に対する自信と実力を得させる
- ・ 生命愛惜の風を養う

東京都市大学塩尻高等学校

- ・ 情操豊かな教養人としての人材の育成

校訓 誠実：礼儀正しく良心に従って行動する

勤勉：骨身惜しまず勉学に勤しみこつこつと努力する

創造：未来を支える社会人として創意工夫に心掛ける

東京都市大学付属小学校

すこやかに かしこく りりしく凛として

世界にはばたく 気高きこどもたち

東京都市大学二子幼稚園

教育目標

- ア 心身ともに健康で、明るく、たくましい子供に育てる
- イ あそびや仕事に意欲をもち、さいごまでやりとげる子どもに育てる
- ウ 自分の思ったことははっきり話し、人の話もよくきく子どもに育てる
- エ 物事をよく見きわめ、考えて、みんなで協力してあそび子どもに育てる
- オ 正しいことをすなおに受け入れ、美しいもの、すぐれたものに感動できる子どもに育てる
- カ 季節の変化や自然現象に、興味や関心をもつ子どもに育てる

3 学校法人の沿革

昭和4年9月12日	武蔵高等工科学校（武蔵工業大学の前身校・ 設立者及川恒忠、手塚猛昌、西村有作） 設置認可
昭和13年4月7日	財団法人武蔵高等工科学校（理事長西村有作）設立許可
昭和13年12月17日	東横商業女学校（東横学園高等学校の前身校・ 設立者五島慶太）設置認可
昭和15年3月25日	東横商業女学校を東横女子商業学校に昇格認可
昭和15年3月30日	財団法人東横学園（理事長五島慶太）設立許可

昭和 16 年 12 月 8 日	財団法人武蔵高等工科学校を財団法人武蔵高等工業学校に改称認可
昭和 19 年 3 月 31 日	財団法人武蔵高等工業学校を財団法人武蔵工業専門学校に改称認可
昭和 22 年 3 月 31 日	教育基本法、学校教育法制定施行
昭和 22 年 4 月 1 日	正和中学校（武蔵工業大学付属中学校の前身校）設置認可
昭和 22 年 4 月 1 日	等々力中学校（東横学園中学校の前身校）設置認可
昭和 23 年 3 月 10 日	東横学園高等学校設置認可
昭和 24 年 2 月 12 日	等々力中学校を東横学園中学校に改称認可
昭和 24 年 2 月 21 日	武蔵工業大学（工学部）設置認可
昭和 24 年 2 月 22 日	正和小学校（東横学園小学校の前身校）設置認可
昭和 26 年 2 月 26 日	財団法人武蔵工業専門学校を学校法人武蔵工業学園に組織変更認可
昭和 26 年 3 月 1 日	武蔵工業学園高等学校（武蔵工業大学付属高等学校の前身校）設置認可
昭和 26 年 3 月 3 日	財団法人東横学園を学校法人東横学園に組織変更認可
昭和 28 年 12 月 4 日	学校法人武蔵工業学園を学校法人武蔵工業大学に改称認可
昭和 28 年 12 月 4 日	武蔵工業学園高等学校を武蔵工業大学付属高等学校に改称認可
昭和 30 年 2 月 21 日	学校法人東急自動車学校設立認可
昭和 30 年 3 月 31 日	学校法人武蔵工業大学に学校法人東横学園を合併し、 学校法人五島育英会に改称認可 (法人事務局 東京都渋谷区大和田町 98 番地)
昭和 30 年 6 月 1 日	学校法人五島育英会（理事長五島慶太）成立 設置学校：武蔵工業大学工学部機械工学科・電気工学科・建設工学科、武蔵工業大学短期大学部機械科・電気科・建設科、武蔵工業大学付属高等学校、東横学園高等学校、東横学園中学校
昭和 30 年 6 月 2 日	東横学園付属二子幼稚園設置認可
昭和 31 年 3 月 1 日	東横学園女子短期大学（家政科）設置認可
昭和 31 年 3 月 1 日	東横学園付属二子幼稚園を東横学園二子幼稚園に改称認可
昭和 31 年 9 月 1 日	学校法人玉川正和行学園及び同大倉山学園の合併成立 設置学校：武蔵工業大学工学部機械工学科・電気工学科・建設工学科、武蔵工業大学短期大学部機械科・電気科・建設科、武蔵工業大学付属高等学校、武蔵工業大学

付属中学校、東横学園女子短期大学家政科、東横学園高等学校、東横学園用賀高等学校、東横学園大倉山高等学校、東横学園中学校、東横学園大倉山中学校、東横学園小学校、東横学園二子幼稚園、東横学園用賀幼稚園、東横学園大倉山幼稚園

昭和 34 年 10 月 7 日	武蔵工業大学原子力研究所に原子炉設置許可
昭和 36 年 4 月 15 日	武蔵工業大学付属信州工業高等学校設置認可
昭和 40 年 8 月 28 日	法人事務局移転（東京都渋谷区大和田町 84 番地）
昭和 41 年 3 月 18 日	武蔵工業大学大学院工学研究科設置認可
昭和 47 年 12 月 27 日	学校法人東急自動車学校と合併契約締結
昭和 48 年 8 月 1 日	学校法人東急自動車学校との合併成立
昭和 52 年 1 月 7 日	東急自動車整備専門学校設置認可
昭和 63 年 7 月 25 日	五島育英会ビル竣工、法人事務局移転 （渋谷区道玄坂 1 丁目 10 番 7 号）
平成 9 年 4 月 1 日	武蔵工業大学環境情報学部（環境情報学科）を開設
平成 13 年 4 月 1 日	武蔵工業大学大学院環境情報学研究科を開設
平成 13 年 4 月 1 日	武蔵工業大学付属信州工業高等学校の名称を 武蔵工業大学第二高等学校と名称変更
平成 19 年 4 月 1 日	武蔵工業大学知識工学部（情報科学科、 情報ネットワーク工学科、応用情報工学科）を開設
平成 20 年 3 月 31 日	東横学園大倉山高等学校廃止認可
平成 21 年 4 月 1 日	武蔵工業大学を東京都市大学へ名称変更 （その他設置学校 7 校を名称変更） 東京都市大学都市生活学部都市生活学科、人間科学部児童学科の 設置、並びに知識工学部自然科学科の設置及び同学部応用情報工 学科を経営システム工学科に名称変更
平成 22 年 3 月 29 日	寄附行為変更 収益事業の追加 （自動車教習所(東急自動車学校)）認可
平成 22 年 7 月 20 日	寄附行為の一部変更 （東急自動車整備専門学校の廃止）認可
平成 22 年 7 月 30 日	寄附行為の一部変更 （東横学園女子短期大学の廃止）認可

4 役員概要

(平成23年5月1日現在)

定数 理事10人以上16人以内 監事2人又は3人

現員 理事14名 監事3名

区分	氏名	常勤・非常勤 の区分	摘要
理事長	安達 功	常勤	平成21年5月27日 理事就任 平成23年4月1日 理事長就任
専務理事	國分 榮	常勤	平成15年5月27日 理事就任 平成18年5月27日 常務理事就任 平成22年6月2日 専務理事就任
常務理事	広江 秀夫	常勤	平成18年5月27日 理事就任 平成21年5月27日 常務理事就任
理事	中村 英夫	常勤	平成16年9月1日 理事就任 (東京都市大学学長)
理事	山口 裕啓	非常勤	平成15年5月27日 理事就任
理事	上條 清文	非常勤	平成12年5月27日 理事就任 (東京急行電鉄株式会社取締役相談役)
理事	越村 敏昭	非常勤	平成20年5月28日 理事就任 (東京急行電鉄取締役株式会社社会長)
理事	清水 仁	非常勤	平成元年6月22日 監事就任 ~平成8年2月29日まで 平成8年3月1日 理事就任 (学校法人亜細亜学園理事長) (東京急行電鉄株式会社相談役)
理事	海老原 大樹	常勤	平成18年4月1日 理事就任 (東京都市大学等々力中学校 ・高等学校校長)
理事	神宮 進一	常勤	平成18年5月27日 理事就任 (東京都市大学事務局長)
理事	橋本 昌彦	常勤	平成22年7月20日 理事就任 (法人本部総務グループ担当理事)

理事	植木 正威	非常勤	平成 21 年 5 月 27 日 理事就任 (東急不動産株式会社取締役会長)
理事	関 博	非常勤	平成 21 年 5 月 27 日 理事就任 (武蔵工業会理事長)
理事	小林 菊恵	非常勤	平成 3 年 5 月 16 日 理事就任 (美砂会会長)
監事	岩田 哲夫	非常勤	平成 20 年 5 月 29 日 監事就任 (東京急行電鉄株式会社常勤監査役)
監事	垣本 謙一郎	非常勤	平成 12 年 5 月 27 日 監事就任 (東京急行電鉄株式会社常勤監査役)
監事	指田 誠一	非常勤	平成 18 年 5 月 27 日 理事就任 ~ 平成 21 年 5 月 26 日まで 平成 21 年 5 月 27 日 監事就任 (武蔵工業会監事)

5 評議員の概要

(平成 23 年 5 月 1 日 現在)

定数 22 人以上 34 人以内

現員 評議員 30 名

氏名	主な現職等
中村 英夫	東京都市大学学長
五十嵐 勲	東京都市大学附属中学校・高等学校校長
海老原 大樹	東京都市大学等々力中学校・高等学校校長
河西 靖男	東京都市大学塩尻高等学校校長
重永 睦夫	東京都市大学附属小学校校長
波田野 久美子	東京都市大学二子幼稚園園長
片田 敏行	東京都市大学工学部長
宮内 新	東京都市大学知識工学部長
中原 秀樹	東京都市大学環境情報学部教授
平本 一雄	東京都市大学都市生活学部長
神宮 進一	東京都市大学事務局長
橋本 昌彦	法人本部総務グループ担当理事

小坂 哲郎	東京都市大学事務局学術情報グループ部長
小杉 雅克	東京都市大学事務局社会連携グループ部長
齋藤 勉	東京都市大学附属中学校・高等学校事務室長
関 博	武蔵工業会理事長
松下 正勝	武蔵工業会副理事長
吉田 勝	武蔵工業会常務理事
小林 菊恵	美砂会会長
川辺 加代子	美砂会副会長
安達 功	学校法人五島育英会理事長
山口 裕啓	
上條 清文	東京急行電鉄株式会社取締役相談役
越村 敏昭	東京急行電鉄株式会社取締役会長
清水 仁	学校法人亜細亜学園理事長 東京急行電鉄株式会社相談役
植木 正威	東急不動産株式会社取締役会長
國分 榮	学校法人五島育英会専務理事
広江 秀夫	学校法人五島育英会常務理事
曾禰 韶夫	
服部 光伸	学校法人亜細亜学園理事

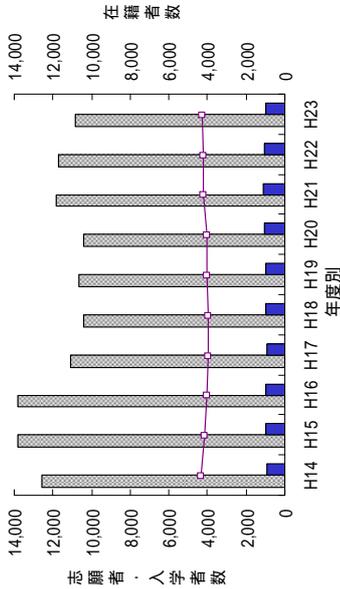
6 平成22年度寄付の受領について

平成22年度に受領した寄付は、次のとおりである。

種別 学校名	現 金			現 物										合 計	
	特定寄付金	一般寄付金	計	建物	構築物	教育研究用 機器備品	図書	用品・消耗品等	車両	計		計			
	件数 金額(円)	件数 金額(円)	件数 金額(円)	件数(点) 金額(円)	件数(点) 金額(円)	件数(点) 金額(円)	件数(冊) 金額(円)	件数(点) 金額(円)	件数(件) 金額(円)	件数 金額(円)	件数 金額(円)	件数 金額(円)			
東京都市大学	40件 41,074,100	11件 1,630,139	51件 42,704,239			124点 74,502,379	330冊 1,779,364	1点 71,996	1件 86,800	456件 76,440,539	507件 119,144,778				
同						1点	638冊 1,182,589	6点 36,000		645件 1,502,089	645件 1,502,089				
付属中学・高等学校				3点 1,810,893	2点 3,360,000	3点 1,171,500	815冊 1,286,915	7点 489,657		830件 8,118,965	830件 8,118,965				
同						20点	403冊 3,206,750	115点 450,960		538件 5,801,874	538件 5,801,874				
同						1点		39点		40件 500,000	40件 500,000				
付属小学校						129,990		370,010		500,000 36件	500,000 36件				
同							7冊 15,813	29点 236,850		36件 252,663	36件 252,663				
二子幼稚園												4件			
法人事務局	3件 19,500,000	1件 31,900	4件 19,531,900												
同	43件 60,574,100	12件 1,662,039	55件 62,236,139	3点 1,810,893	2点 3,360,000	149点 79,294,119	2,193冊 6,408,845	197点 1,655,473	1点 86,800	2,545件 92,616,130	2,600件 154,852,289				
合 計															

8 入学志願者・入学者・在籍者数推移図表

東京都市大学工学部・知識工学部(世田谷キャンパス)



東京都市大学工学部・知識工学部

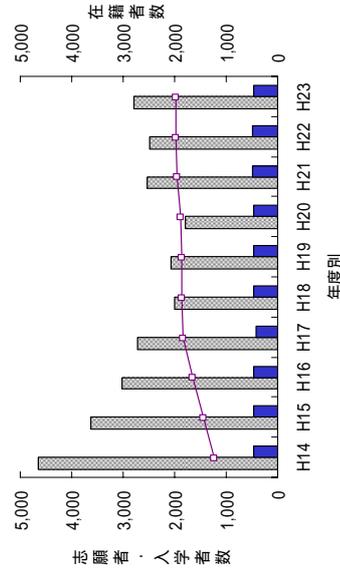
	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
志願者数	12,559	13,807	13,830	11,065	10,390	10,636	10,418	11,853	11,718	10,837
入学者数	941	977	970	940	980	989	1,043	1,086	1,031	1,021
在籍者数	4,310	4,169	4,051	3,966	3,988	4,002	4,046	4,192	4,239	4,272

注: H18工学部のみ、H19-工学部・知識工学部の合計

H21年-の内訳

	H21	H22	H23
志願	8,748	8,228	7,699
入学	3,105	3,490	3,138
在籍	789	739	747
知	297	292	274
工	3,327	3,096	3,096
知	865	1,143	1,176

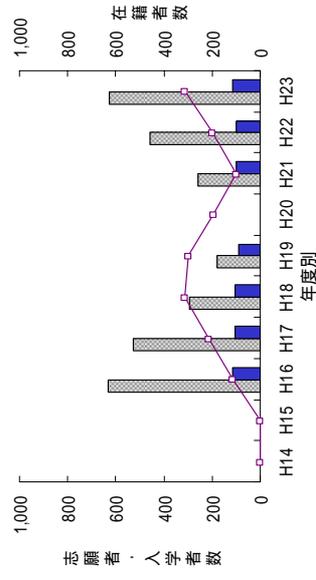
東京都市大学環境情報学部(横浜キャンパス)



東京都市大学環境情報学部

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
志願者数	4,649	3,623	3,026	2,731	1,991	2,077	1,791	2,543	2,497	2,795
入学者数	474	475	454	425	462	467	473	496	490	473
在籍者数	1,238	1,437	1,662	1,831	1,870	1,871	1,882	1,944	1,970	1,975

東京都市大学人間科学部(等々力キャンパス)

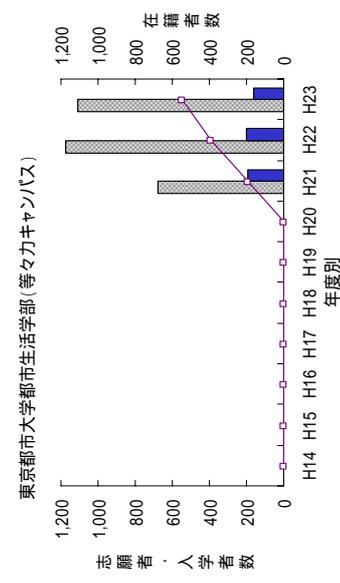


東京都市大学人間科学部

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
志願者数	-	632	528	294	177	-	257	460	627	-
入学者数	-	114	105	105	91	-	101	100	115	-
在籍者数	-	114	216	315	297	195	101	201	314	-

注: H16～H20までは旧 東横学園女子短期大学保育学科、H21からは都市大 人間科学部

東京都市大学都市生活学部(等々力キャンパス)

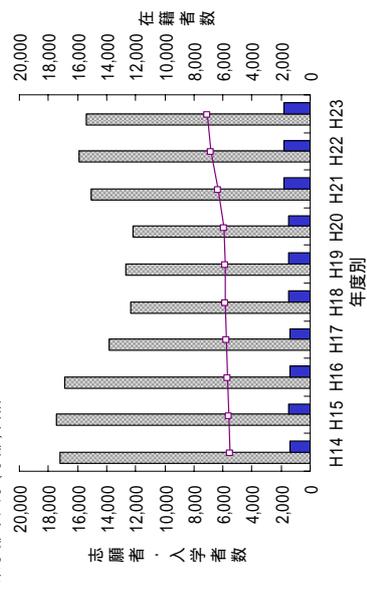


東京都市大学都市生活学部

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
志願者数	-	-	-	-	-	-	-	675	1,173	1,111
入学者数	-	-	-	-	-	-	-	196	202	164
在籍者数	-	-	-	-	-	-	-	195	395	551

注: H21～の新学部 都市生活学部

東京都市大学(学部)合計



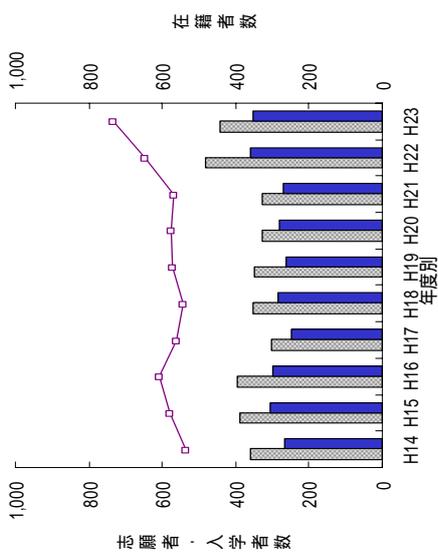
東京都市大学(学部)合計

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
志願者数	17,208	17,430	16,856	13,966	12,381	12,713	12,209	15,071	15,848	15,370
入学者数	1,415	1,452	1,424	1,365	1,442	1,456	1,516	1,778	1,823	1,773
在籍者数	5,548	5,606	5,713	5,797	5,858	5,873	5,928	6,331	6,805	7,112

注: 人間科学部はH21～を合計数に含む(以前の保育学科分は含まない)

志願者数 入学者数 在籍者数

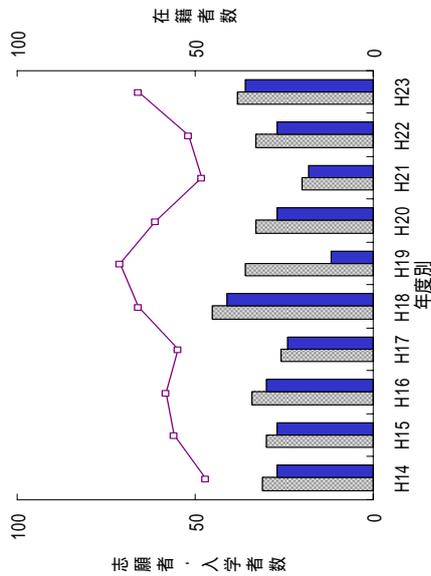
東京都市大学(大学院)合計



東京都市大学(大学院)合計

年度別	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
志願者数	360	389	397	303	353	348	327	328	482	444
入学者数	265	304	300	249	283	263	279	270	361	353
在籍者数	535	579	607	562	543	573	577	570	646	734

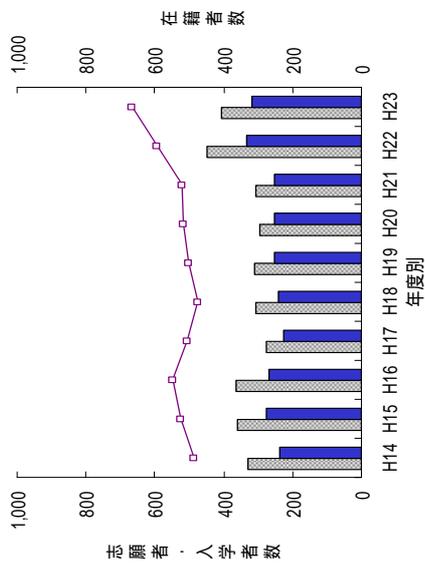
東京都市大学大学院 環境情報研究科



東京都市大学大学院 環境情報研究科

年度別	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
志願者数	31	30	34	26	45	36	33	20	33	38
入学者数	27	27	30	24	41	12	27	18	27	36
在籍者数	47	56	58	55	66	71	61	48	52	66

東京都市大学大学院 工学研究科

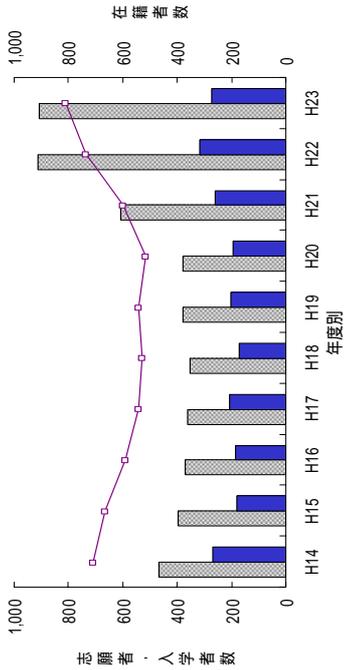


東京都市大学大学院 工学研究科

年度別	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
志願者数	329	359	363	277	308	312	294	308	449	406
入学者数	238	277	270	225	242	251	252	252	334	317
在籍者数	488	523	549	507	477	502	516	522	594	668

■ 志願者数 □ 入学者数 ○ 在籍者数

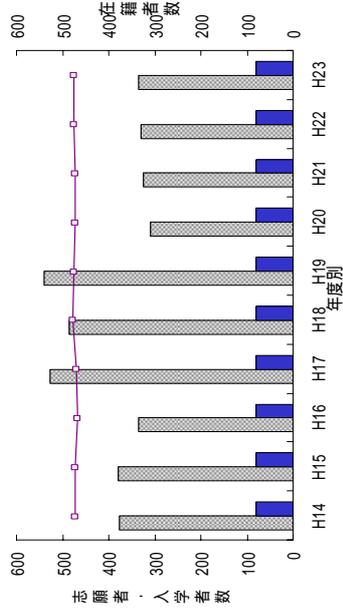
東京都市大学端尻高等学校



東京都市大学端尻高等学校

年度別	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
志願者数	469	397	372	363	352	377	380	610	911	906
入学者数	269	179	183	207	173	201	192	259	317	272
在籍者数	711	667	591	544	530	543	516	601	736	811

東京都市大学付属小学校

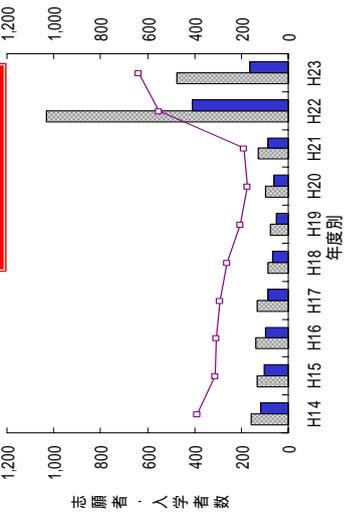


東京都市大学付属小学校

年度別	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
志願者数	376	380	334	528	487	541	308	324	331	334
入学者数	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80
在籍者数	474	472	467	471	478	475	473	474	476	475

H22-共学部開設
女子部募集停止(内部進学のみ)

東京都市大学等々力高等学校

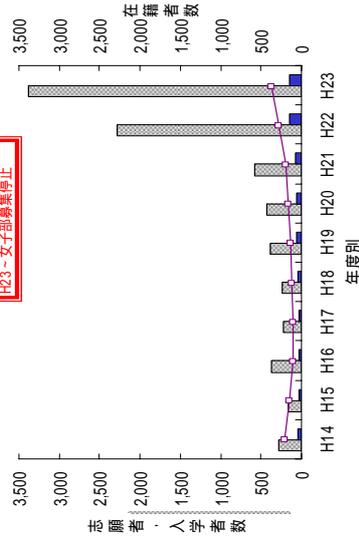


東京都市大学等々力高等学校

年度別	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
志願者数	156	132	139	134	87	76	96	130	1,034	477
入学者数	116	101	99	87	66	49	61	86	411	165
在籍者数	388	314	308	289	259	203	172	190	551	637

注:内部進学含む、入学者数、在籍者数は等々力中か5の女子部、進学者38名を含む。

東京都市大学等々力中学校

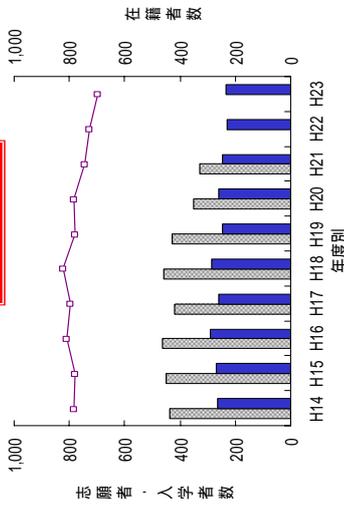


東京都市大学等々力中学校

年度別	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
志願者数	275	167	376	227	232	386	423	575	2,288	3,377
入学者数	49	26	37	37	44	56	61	79	150	151
在籍者数	203	141	110	99	117	139	162	195	286	376

H22-中高6が年一貫教育
のため募集停止

東京都市大学付属高等学校

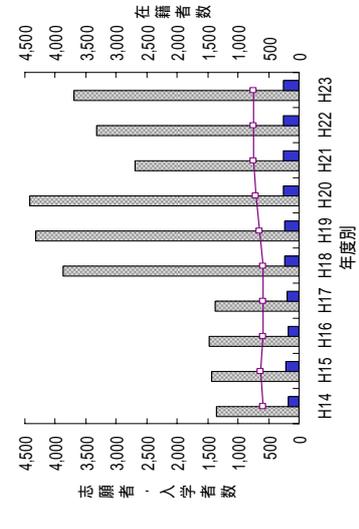


東京都市大学付属高等学校

年度別	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
志願者数	436	451	463	422	461	429	352	328	-	-
入学者数	266	268	290	287	246	259	245	231	232	232
在籍者数	784	779	808	797	823	778	783	744	729	696

注: H22以降の入学者数は付属中からの内部進学者。

東京都市大学付属中学校

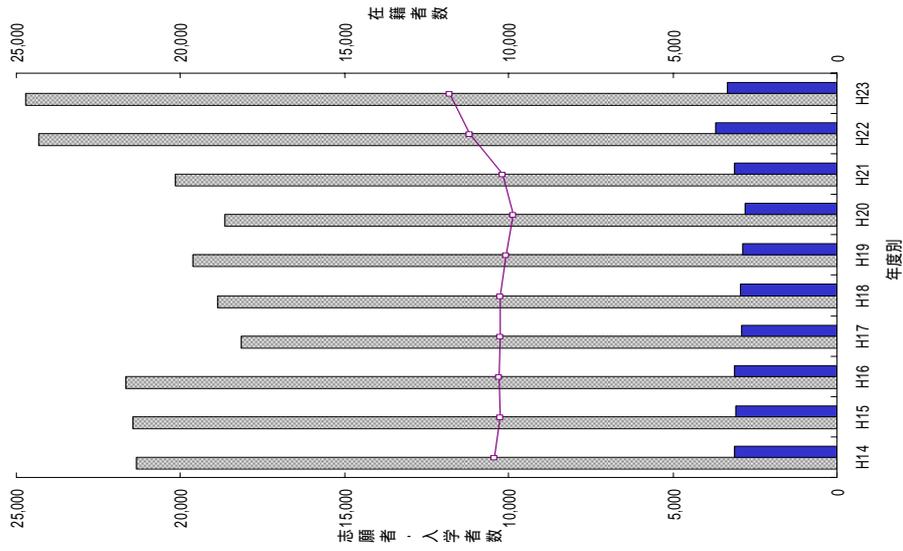


東京都市大学付属中学校

年度別	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
志願者数	1,359	1,434	1,482	1,373	3,885	4,326	4,415	2,690	3,328	3,692
入学者数	182	224	183	188	228	240	247	256	249	248
在籍者数	588	621	580	588	596	663	712	740	746	745

■ 志願者数 ■ 入学者数 -○- 在籍者数

五島育英会(東京都市大学グループ)総括



五島育英会総括

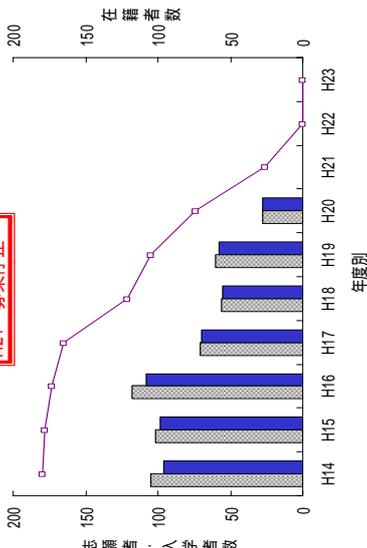
年度別	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
志願者数	21,334	21,466	21,651	18,147	18,861	19,634	18,648	20,170	24,335	24,716
入学者数	3,130	3,094	3,131	2,920	2,956	2,862	2,805	3,124	3,694	3,345
在籍者数	10,443	10,272	10,287	10,248	10,245	10,090	9,871	10,175	11,189	11,788

H20年3月、東横学園大倉山高等学校閉校

参考：H6志願者数27,527、H10入学者数4,027、H10在籍者数11,965

東京自動車整備専門学校

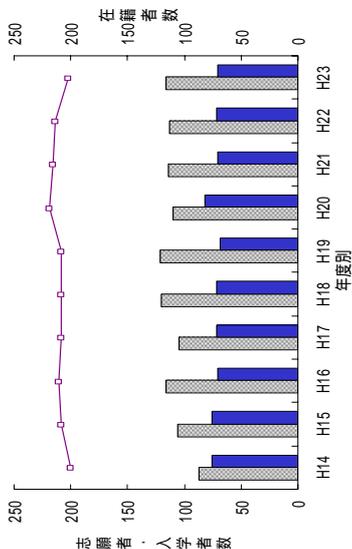
H21～募集停止



東京自動車整備専門学校

年度別	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
志願者数	105	102	118	71	56	60	28	-	-	-
入学者数	96	98	108	70	55	58	28	-	-	-
在籍者数	180	178	173	165	121	105	74	26	-	-

東京都市大学二子幼稚園

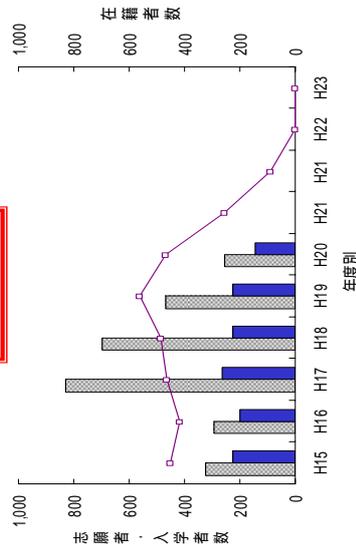


東京都市大学二子幼稚園

年度別	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
志願者数	87	106	116	105	120	121	110	114	113	116
入学者数	76	76	71	72	72	68	82	71	72	71
在籍者数	200	209	211	209	208	208	219	216	214	202

東横学園女子短期大学

H20～募集停止



東横学園女子短期大学

年度別	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
志願者数	325	293	829	700	467	257	-	-	-
入学者数	224	202	265	226	226	145	-	-	-
在籍者数	452	417	462	486	560	468	255	88	-

9 土地・建物明細

平成23年5月1日現在の土地・建物面積は、下記の通りである。

学校名		校地・校舎の状況				備考
東京 都 市 大 学	工学部・ 知識工学部	校地の内訳				世田谷キャンパス及び 原子力研究所・総合研究所 の計
		(校地計) 147,027.52 m ²	校舎敷地	屋外運動場	体育施設	
		(所 有) 114,649.52 m ²	123,603.91 m ²	20,318.00 m ²	3,105.61 m ²	
		(借 用) 32,378.00 m ²	寄宿舍・山荘	その他		
			0.00 m ²	0.00 m ²		
		校舎の内訳				
		(校舎計) 72,740.72 m ²	一般校舎	講堂・体育館	図書館(室)	
		(所 有) 72,740.72 m ²	59,405.17 m ²	3,170.24 m ²	5,796.40 m ²	
	(借 用) 0.00 m ²	体育施設	寄宿舍・山荘	部室その他		
		0.00 m ²	0.00 m ²	4,368.91 m ²		
	環境情報学部	校地の内訳				
		(校地計) 64,687.96 m ²	校舎敷地	屋外運動場	体育施設	
		(所 有) 64,687.96 m ²	27,560.97 m ²	10,705.80 m ²	1,818.23 m ²	
		(借 用) 0.00 m ²	寄宿舍・山荘	その他		
			0.00 m ²	24,602.96 m ²		
		校舎の内訳				
(校舎計) 21,403.71 m ²		一般校舎	講堂・体育館	図書館(室)		
(所 有) 21,403.71 m ²		16,078.11 m ²	1,602.60 m ²	1,296.38 m ²		
(借 用) 0.00 m ²	体育施設	寄宿舍・山荘	部室その他			
	0.00 m ²	0.00 m ²	2,426.62 m ²			
都市生活学部 ・人間科学部	校地の内訳					
	(校地計) 11,531.00 m ²	校舎敷地	屋外運動場	体育施設		
	(所 有) 11,531.00 m ²	9,017.00 m ²	2,514.00 m ²	0.00 m ²		
	(借 用) 0.00 m ²	寄宿舍・山荘	その他			
		0.00 m ²	0.00 m ²			
	校舎の内訳					
	(校舎計) 14,326.18 m ²	一般校舎	講堂・体育館	図書館(室)		
	(所 有) 14,326.18 m ²	11,766.88 m ²	0.00 m ²	1,742.77 m ²		
(借 用) 0.00 m ²	体育施設	寄宿舍・山荘	部室その他			
	0.00 m ²	0.00 m ²	816.53 m ²			

学校名		校地・校舎の状況				備考
東京都 大 学	大学計	校地の計				・校舎面積に渋谷サテライトクラス(197.62㎡)は含めない。
		(校地計) 223,246.48㎡	校舎敷地	屋外運動場	体育施設	
		(所有) 190,868.48㎡	160,181.88㎡	33,537.80㎡	4,923.84㎡	
		(借用) 32,378.00㎡	寄宿舍・山荘	その他		
			0.00㎡	24,602.96㎡		
		校舎の計				
		(校舎計) 108,470.61㎡	一般校舎	講堂・体育館	図書館(室)	
		(所有) 108,470.61㎡	87,250.16㎡	4,722.84㎡	8,835.55㎡	
		(借用) 0.00㎡	体育施設	寄宿舍・山荘	部室その他	
			0.00㎡	0.00㎡	7,612.06㎡	
東京都市大学附属 中学校・高等学校		校地の内訳				・菅平山荘を含む (校地) 1,761.00㎡ (校舎) 1,019.37㎡
		(校地計) 26,148.00㎡	校舎敷地	屋外運動場	体育施設	
		(所有) 26,148.00㎡	10,691.31㎡	13,695.69㎡	0.00㎡	
		(借地) 0.00㎡	寄宿舍・山荘	その他		
			1,761.00㎡	0.00㎡		
		校舎の内訳				
		(校舎計) 17,637.91㎡	一般校舎	講堂・体育館	図書館(室)	
		(所有) 17,637.91㎡	13,249.29㎡	2,790.33㎡	342.02㎡	
(借用) 0.00㎡	体育施設	寄宿舍・山荘	部室その他			
	0.00㎡	1,019.37㎡	236.90㎡			
東京都市大学 等々力中学校・ 高等学校		校地の内訳				総合グラウンドを含む (校地) 26,901.00㎡ (校舎) 950.87㎡
		(校地計) 37,992.00㎡	校舎敷地	屋外運動場	体育施設	
		(所有) 34,851.00㎡	5,335.51㎡	30,991.00㎡	1,665.49㎡	
		(借用) 3,141.00㎡	寄宿舍・山荘	その他		
			0.00㎡	0.00㎡		
		校舎の内訳				
		(校舎計) 15,520.57㎡	一般校舎	講堂・体育館	図書館(室)	
		(所有) 15,520.57㎡	10,383.60㎡	2,995.41㎡	341.02㎡	
(借用) 0.00㎡	体育施設	寄宿舍・山荘	部室その他			
	261.90㎡	0.00㎡	1,538.64㎡			
東京都市大学 塩尻高等学校		校地の内訳				
		(校地計) 39,025.00㎡	校舎敷地	屋外運動場	体育施設	
		(所有) 39,025.00㎡	19,022.84㎡	16,121.00㎡	1,879.16㎡	
		(借用) 0.00㎡	寄宿舍・山荘	その他		
	0.00㎡	2,002.00㎡				

学校名	校地・校舎の状況				備考
東京都市大学 塩尻高等学校	校舎の内訳				
	(校舎計) 11,668.27 m ²	一般校舎	講堂・体育館	図書館(室)	
	(所有) 11,668.27 m ²	7,750.31 m ²	1,882.46 m ²	192.00 m ²	
	(借用) 0.00 m ²	体育施設	寄宿舍・山荘	部室その他	
		0.00 m ²	0.00 m ²	1,843.50 m ²	
東京都市大学付属 小学校	校地の内訳				
	(校地計) 7,588.00 m ²	校舎敷地	屋外運動場	体育施設	
	(所有) 6,297.00 m ²	2,780.44 m ²	3,000.00 m ²	1,050.48 m ²	
	(借用) 1,291.00 m ²	寄宿舍・山荘	その他		
		0.00 m ²	757.08 m ²		
	校舎の内訳				
	(校舎計) 5,978.51 m ²	一般校舎	講堂・体育館	図書館(室)	
	(所有) 5,978.51 m ²	4,600.56 m ²	515.98 m ²	330.16 m ²	
	(借用) 0.00 m ²	体育施設	寄宿舍・山荘	部室その他	
		531.81 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	
東京都市大学 二子幼稚園	校地の内訳				
	(校地計) 1,881.00 m ²	校舎敷地	屋外運動場	体育施設	
	(所有) 1,881.00 m ²	1,078.78 m ²	802.22 m ²	0.00 m ²	
	(借用) 0.00 m ²	寄宿舍・山荘	その他		
		0.00 m ²	0.00 m ²		
	校舎の内訳				
	(校舎計) 1,168.35 m ²	一般校舎	講堂・体育館	図書館(室)	
	(所有) 1,168.35 m ²	1,029.15 m ²	139.20 m ²	0.00 m ²	
	(借用) 0.00 m ²	体育施設	寄宿舍・山荘	部室その他	
		0.00 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	
A 学校(～)計	校地の内訳				
	(校地計) 335,880.48 m ²	校舎敷地	屋外運動場	体育施設	
	(所有) 299,070.48 m ²	199,090.76 m ²	98,147.71 m ²	9,518.97 m ²	
	(借用) 36,810.00 m ²	寄宿舍・山荘	その他		
		1,761.00 m ²	27,362.04 m ²		
	校舎の内訳				
	(校舎計) 160,444.22 m ²	一般校舎	講堂・体育館	図書館(室)	
	(所有) 160,444.22 m ²	124,263.07 m ²	13,096.22 m ²	10,040.75 m ²	
	(借用) 0.00 m ²	体育施設	寄宿舍・山荘	部室その他	
		793.71 m ²	1,019.37 m ²	10,280.23 m ²	

学校名	校地・校舎の状況		備考	
B 東急自動車学校	土地の内訳			
	(土地計) 35,476.88 m ²			
	(所有) 0.00 m ²			
	(借用) 35,476.88 m ²			
建物の内訳				
(建物計) 3,465.18 m ²				
(所有) 3,465.18 m ²				
(借用) 0.00 m ²				
C 法人本部 (基本財産)	土地の内訳			
	(土地計) 39,423.12 m ²	・道玄坂 (所有) 278.41 m ² (借用) 163.86 m ²		
	(所有) 23,136.26 m ²			
	(借用) 16,286.86 m ²	・戸越 (所有) 503.33 m ² ・大倉山 (所有) 6,788.00 m ² ・王禅寺 (所有) 8,975.00 m ² ・虹ヶ丘 (所有) 4,606.00 m ² ・野川 (所有) 1,985.52 m ² ・八ヶ岳 (借用) 16,123.00 m ²		
	建物の内訳			
	(建物計) 11,178.22 m ²			・大倉山 2棟 (所有) 5,822.98 m ² ・虹ヶ丘 (所有) 26.88 m ² ・野川 (所有) 2,985.94 m ² ・八ヶ岳 2棟 (所有) 2,342.42 m ²
(所有) 11,178.22 m ²				
(借用) 0.00 m ²				
D 法人本部 (その他)	土地の内訳			
	運用土地	・大沼 (所有) 107,368.79 m ²		
	(土地計) 107,368.79 m ²			
	(所有) 107,368.79 m ²	建物の内訳		
事業管理グループ管理建物	・五島育英会ビル			
(建物計) 4,239.85 m ²				
(所有) 4,239.85 m ²				
総計(A~D計)	土地総計 : 518,149.27 m ²			
	(所有) : 429,575.53 m ²	(借用) ; 88,573.74 m ²		
総計(A~D計)	建物総計 : 179,327.47 m ²			
	(所有) : 179,327.47 m ²			

10 教職員の概要

(平成22年5月1日現在)(単位:人)

区分	教員		職員	
	本務	兼務	本務	兼務
法人本部			31	1
東京都市大学	272	279	195	119
東京都市大学附属中学校・高等学校	73	44	10	
東京都市大学等々力中学校・高等学校	49	31	7	5
東京都市大学塩尻高等学校	36	32	7	
東京都市大学附属小学校	17	11	5	2
東京都市大学二子幼稚園	11		1	
東急自動車学校		5	88	4
合計	458	402	344	131

平均年齢 教員：48.1歳 職員：42.0歳

平均勤続年数：12.9歳

11 その他

当該年度の重要な契約

該当なし

係争事件の有無とその経過

該当なし

決算日後に生じた学校法人の状況に関する重要な事実

該当なし

キャンパス等施設所在地一覧

学校法人五島育英会

理事長 安達 功

法人本部

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-10-7 五島育英会ビル8階

東京都市大学

学長 中村 英夫

世田谷キャンパス

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1

工学研究科・工学部・知識工学部

横浜キャンパス

〒224-8551 神奈川県横浜市都筑区牛久保西3-3-1

環境情報学研究科・環境情報学部

等々力キャンパス

〒158-8586 東京都世田谷区等々力8-9-18

都市生活学部・人間科学部

原子力研究所

〒215-0013 神奈川県川崎市麻生区王禅寺9-7-1

総合研究所

〒158-0082 東京都世田谷区等々力8-10-1

渋谷サテライトクラス

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-10-7 五島育英会ビル B1 階

東京都市大学・早稲田大学 共同原子力専攻

東京都市大学附属中学校・高等学校

校長 五十嵐 勲

〒157-8586 東京都世田谷区成城1-13-1

東京都市大学等々力中学校・高等学校

校長 海老原 大樹

〒158-0082 東京都世田谷区等々力8-10-1

東京都市大学塩尻高等学校

校長 河西 靖男

〒399-0703 長野県塩尻市広丘高出2081

東京都市大学附属小学校

校長 重永 睦夫

〒157-0066 東京都世田谷区成城1-12-1

東京都市大学二子幼稚園

園長 波田野 久美子

〒158-0094 東京都世田谷区玉川2-17-10

東急自動車学校

校長 白石 明

〒206-0035 東京都多摩区唐木田 3 - 6

東京都市大学総合グラウンド

〒157-0077 東京都世田谷区鎌田 1 - 16 - 1